

＼西区／

地 域 を 元 気 に
人 を 元 気 に ！

社協だより

Nishi-ku Shakyo Dayori

No.88

2022.7.1



今年もやまべエピンバッジが完成しました

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします！



500円の募金で進呈！

今年は寅年にちなんで、“屏風のトラと対峙するやまべエ”がモチーフになっています。お求めは西区社会福祉協議会(西区役所1階)まで



2017年から開始している赤い羽根共同募金と西区の環境キャラクター「さんかくやまべエ」とのコラボレーションによる寄付金付きピンバッジ。6年目となる今年も新たなデザインで登場です。赤い羽根共同募金は地域の福祉活動を支える貴重な財源となっており、今年もやまべエとともに広く赤い羽根共同募金運動の普及を行っていきます。

もくじ

毎月3日は
見守り訪問の日

- 共同募金「やまべエピンバッジ」PR 1ページ
- 令和3年度生活支援体制整備事業活動報告 2～3ページ
- 福祉のまち推進センターの取組(琴似・二十四軒地区、西野地区) 4～5ページ
- ボランティア連絡会総会・総会研修会報告 6ページ
- 令和3年度西区社協事業報告・決算報告 7ページ
- 愛情銀行寄付紹介、賛助会費募集 8ページ

令和
3年度

生活支援体制整備事業 活動報告について



生活支援体制整備事業

生活支援体制整備事業は、ボランティアや民間事業者など地域の多様な主体とともに、高齢者を支援する「しくみづくり」を進める取り組みです。昨今のコロナウィルスの影響により、活動に制約は出たものの、令和3年度も様々な活動に取り組みましたのでご紹介いたします。

① 西区生活支援ボランティア養成【ボランティア入門研修の開催】

「身近な地域で広げる支え合い活動」として、各種ボランティア活動に加え、生活支援体制整備事業の活動及び西区生活応援ボランティアグループについて説明しました。



② 西区生活支援体制整備事業広報誌「つなぐ」の作成

西区内での本事業の取り組みをまとめた広報誌「つなぐ」を作成しました。季節ごとに発行し、令和3年度は4回発行しました(西区社協HPでも紹介しています。)



③ 西区第1 包括エリア（山の手地区の取組みより）

地域特性として坂道が多いことから買い物支援や、除雪車が入ることができない道路の除雪が地域課題として挙げられていました。地域資源を検討した結果、山の手高校ラグビー部の寮が対象町内会にあるため除雪ボランティアをお願いできないかということとなり、町内会とも調整を行った結果、山の手高校ラグビー部及び野球部の協力のもと令和4年2月に、ボランティア除雪を実施しました。



④ 西区第2 地域包括エリア （西野地区福井の取組みより）

西野地区福井にて、「生活支援情報 MAP ～お買い物編～」を作成しました。この地区では移動スーパーが巡回しており、その販売場所等について記載しました。今後、西野地区内の西野、昭和についてもマップを作成予定です。



⑤ 西区第3 包括エリア（発寒北地区の取組みより）

発寒団地町内会では近隣の商店が閉店したことで、買い物に困る方もいるとの声が聞かれました。そこで、買い物支援をテーマとした話し合いを行い、町内会の役員の方々を中心に、移動スーパーの誘致等についてご意見をお聞きしました。

公営団地への移動スーパーの誘致に際して、単純な営利活動では導入は難しいため、地域の交流の場、支え合い活動の場として活用できるかどうかのポイントとなりました。そして発寒団地町内会役員が中心となり、主に高齢者の買い物の荷物運び等の支援を行うこと、買い物の場を見守り活動及び交流の場とすることとし、移動スーパーを誘致しました。





福祉のまち推進

● 琴似二十四軒地区福祉のまち推進センター ●

○「福まち活動」の拠点が移転しました

琴似二十四軒地区福祉のまち推進センターでは、地域内に3つの連合町内会(琴似・二十四軒・二十四軒東)があり、福祉のまち推進センターでは活動の拠点を2か所にもうけています。このうち、二十四軒地域の拠点となっていた「二十四軒会館」が閉館となることから、今年度、新たに、二十四軒小学校内地域会議室(二十四軒2条3丁目)に活動拠点となる「憩の杜」が移転しました。

移転先のリニューアルした「憩の杜」においても、住民の見守り活動を進めるための福祉マップ作りなど、地域の福祉活動はこれまでと変わらず行われています。



憩の杜 打ち合わせスペース



地域会議室の外観

○民生委員・児童委員活動強化週間で街頭啓発を実施(琴似二十四軒地区民児協の活動から)

毎年5月12日は全国一斉に民生委員・児童委員活動を広く知っていただくための「民生委員・児童委員の日」となっています。琴似二十四軒地区民生委員児童委員協議会では、地域で暮らす人々の相談に応じ、必要に応じて関係機関と連携して支援につなぐ活動をPRする機会として街頭啓発が行われました。

コロナウィルス感染症の関係もあり、民生委員・児童委員の訪問活動も困難な状況が続いていましたが、琴似中心部で行き交う区民のみなさんに、直接声をかける貴重な機会となりました。



琴似の中心部でPR



道行く区民にお声かけしました



センターの取組



西野地区福祉のまち推進センター

西野地区福祉のまち推進センター及び西野地区民生委員児童委員協議会では、5月12日の民生委員児童委員の日にあわせて、活動強化週間パネル展と介護予防活動の普及につながるイベントを昭和会館(西野6条3丁目)において開催しました。

イベント期間は5月9日(月)から13日(金)の1週間で、地域の関係機関である「介護予防センター西野」「西野まちづくりセンター」の協力のほか、西区社会福祉協議会も西野地区の福祉活動のパネル作成に協力させていただきました。



会館内にパネルを掲示

期間中はパネル展の開催のほか、民生委員・児童委員も参加した「おしゃべりコーナー」の開設のほかに、今年で10年目を迎えた「エコロコ!やまべエ体操」の普及のための体操教室、カーリングに似た「カーリンコン体験」も実施されました。

体操は駐車場で青空開催、カーリンコンは普段は介護予防活動の参加が少ない男性の皆さんにもたくさん参加していただきました。

今回がはじめての取組みでしたが、天気にも恵まれ、期間中の催しは無事終了となりました。

西野地区福祉のまち推進センターと西野地区民生委員児童委員協議会では、様々な機会を捉えて住民の皆さんと関わり、関係機関と協力しながら「安心して暮らすことのできる地域づくり」を進めてまいります。



体操は普及員のみなさんに協力いただきました



男性も多数参加したカーリンコン!



令和4年度

ボランティア連絡会
総会・研修会

復活!



4月26日火曜日の14時から、2019年以来となる対面での総会・研修会を実施いたしました。

西区ボランティア連絡会の役員の方々が中心となって、令和3年度の事業報告や決算報告、今年度の事業計画案や予算案の提案を行いました。参加者の皆様のご協力もあり、総会は滞りなく行われました。

研修会では、昨年のボランティア入門研修にもお越しいただい

た、慈啓会特別養護老人ホームの前川施設長に「コロナ禍における感染予防の方法」についてお話しいただきました。普段の手洗いでどれくらい手を清潔に出来ているかを確認する演習では、前川施設長から「きれいに洗えていますね!」とお墨付きをいただく方が多く、参加者の感染予防に対する意識の高さが伺えました。

区民センターを会場として受付時の検温や消毒、換気を行い感染予防対策に努めた今回の研修は、16名の方にご参加いただき大成功の結果になりました。

今回の総会で令和4年度～令和6年度までの西区ボランティア連絡会役員選出が行われ、前ボラ連監査の白川様が湊会長からバトンを引き継ぎ、新会長として就任されました。ボランティア連絡会の役員も新しいメンバーが加わり、新体制のもと西区のボランティア活動の促進に向け動き始めました。



社会福祉法人 さっぽろ慈啓会
慈啓会特別養護老人ホーム 施設長 前川 恭子 様



西区ボランティア連絡会 新会長
白川 榮子 様



令和3年度 西区社会福祉協議会 事業報告・決算報告

西区社会福祉協議会では、これまで、「見守り・支え合い活動」を基本とした住民同士の支え合い活動を推進してきたほか、今後ますます増えることが予想される「要支援高齢者」の方々の生活支援ニーズに対応するために、ボランティアの育成にも取り組みました。コロナ禍という環境下にありますが、これからも「だれもが孤立せずにお互いに支えあうやさしい街づくり」の実現に向けて活動を進めてまいります。

おもな事業

地区福祉のまち推進センター活動の充実

- ・緊急連絡カード等の配布
- ・福祉マップ作成支援
- ・コーディネート機能の強化
- ・福まち活動者全体研修会の開催(録画)

ふれあい・いきいきサロンの拡充

- ・広報誌によるサロン紹介
- ・登録団体への活動費助成



サロン活動の様子



福祉マップの作成



ボランティア入門研修

ボランティア活動の振興普及

- ・ボランティア通信「にじのひろば」発行
- ・地域ボランティア入門講座の開催
- ・福祉除雪の実施

このほかにも、地域の様々な団体と連携しながら、西区の地域福祉推進に関する事業を実施してまいりました

【資金収支計算書】

(単位：円)

科目		決算額
収入の部	会費収入	748,500
	寄付金収入	1,105,385
	経常経費補助金収入	7,613,285
	助成金収入	14,473,750
	事業収入	3,733,750
	受取利息配当金収入	133,114
合計①		27,807,784

科目		決算額
支出の部	事業費支出	3,474,220
	事務費支出	2,202,002
	助成金支出	21,121,365
	固定資産取得支出	842,050
合計②		27,639,637

前期末支払資金残高③	19,420,832
------------	------------

当期末支払資金残高①-②+③	19,588,979
----------------	------------

【貸借対照表】

(単位：円)

資産の部	年度末
流動資産	22,062,208
基本財産	3,000,000
その他固定資産(車両・器具)	967,427
その他固定資産(基金等)	16,728,141
長期預け金	1,000
資産の部合計	42,758,776

負債の部	年度末
流動負債(未払金・預り金)	2,473,229
固定負債	0

純資産の部	年度末
基本金	3,000,000
基金(社会福祉基金)	16,728,141
次期繰越活動収支差額	20,557,406
(うち当期活動増減差額)	926,178
純資産の部合計	40,285,547
負債及び純資産の部合計	42,758,776



「さっぽろ社協ハートニット」とは、SAPPORO SHAKYO の2つの「S」を編み込んで4つのハート(こころ)を織り上げた、札幌市社会福祉協議会のシンボルマークです。

毎月3日は見守り訪問の日



愛情銀行寄附受理報告

～あたたかい善意ありがとうございました～

令和4年 3月 匿名様 50,000円
 4月 株式会社オーク様 300,000円
 <物品寄附>
 毎月 マルハン琴似店様 お菓子の寄贈



株式会社オーク様



マルハン琴似店様

西区社協愛情銀行へのご寄附について

本会では、住民の皆様からいただいた善意は、地域の福祉活動(孤立をしない地域づくりや、ふれあい・いきいきサロン、見守り安心グッズなど)に有効に活用させていただいています。皆様からのお申し込みをお待ちしております。

賛助会員になりませんか

本会では、地域における福祉活動を広く推進する財源を確保するため、賛助会員を募集し、会費を募っています。

この「賛助会員制度」は、賛助会員に加入していただくことにより、地域との接点と地域福祉活動に対する関心を持っていただくことを目的としています。

趣旨に賛同し、ご入会いただける方は、本会事務局へご連絡をお願い申し上げます。

賛助会費:個人(1口)1,000円 団体・法人(1口)10,000円

※2口以上のご加入もお受けしております。

※賛助会員会費及び愛情銀行寄附金は、寄附金控除として所得控除の対象となります。詳細につきましては最寄りの税務署もしくは本会までお問い合わせください。

発行 社会福祉法人札幌市西区社会福祉協議会
 住所 札幌市西区琴似2条7丁目 西区役所1階

直通電話 011-641-6996
 F A X 011-611-6620

